

臨空第2公園基本計画（案）説明会【質疑応答】

※以下の質疑応答には、個人が特定できるような質問及び回答は含んでおりません。

令和6年8月

	質問事項	回答
公園施設	今回の整備により広大な緑地がなくなる。植樹をできる限り多くしてほしい。	緑化も大切なため、具体的な設計等の中で意見を承る。
	賑わい施設の建物の面積は。	建蔽率として最大で3,000㎡程度を想定している。
	駐車場が大きいが内容はどうか。	アリーナの利用者240台、賑わい施設50台、施設管理20台で設定した。 建築の際の基準を用いて来場者等の予測から台数及び面積を算出した。
アリーナ	コミュニティスペース・多目的スペースの各諸室の内訳は決まっているのか。	各諸室の大きさなどについては、まだ決まっていない。 設計段階で700㎡の中で、それぞれの部屋の面積の割合などを決めていく。
	シャワールームのスペースはあるのか。	男女それぞれの更衣室にシャワールームを14室程度整備を行う予定。
	アリーナでのバスケットやバレーの面積はどのレベルのものとなるのか。	メインアリーナはバスケットコート2面、サブアリーナはバレーボールコート1面とし、それぞれ公式戦が行える施設を考えている。

臨空第2公園基本計画（案）説明会【質疑応答】

	質問事項	回答
災害時の利用	臨空第2公園の隣に給食センターがあるが災害時の利用について計画に記載すべきではないか。	給食センターには災害時の炊き出しを想定してた設備を備えている。 今回の計画では公園内部の設備について記載している。 記載について検討を進めていく。
	車中泊避難や在宅避難について記載されているがなぜか。	熊本地震等の際に車中泊避難や在宅が注目されてきた。災害時には避難所以外での避難生活を行う方が想定される。それに備えるため施設整備を行うこととしている。
	車中泊避難者や在宅避難者を受け入れる施設を整備し誘導することはできるのか。	310台分として13,000㎡の駐車場を整備する予定であり、避難者の受け入れは可能である。 誘導については訓練等を通じて周知を図っていく。
	アリーナは帰宅困難者の一時滞在場所となっているが、どのような人が何人滞在すると想定しているか。	帰宅困難者は災害発生後にご自宅に帰れない方であり、町内だけでなく近隣市町にお勤め等の方で帰宅できない方を想定しているが、人数までは想定していない。 発災直後の避難スペースの目安としては1人あたり1㎡となっているため、発災初期には2,000人以上の方を収容できると考えている。
公共交通	公共交通の充実について名古屋市交通局の市バスや名鉄の乗り入れについて記載すべきではないか。	北名古屋市や小牧市のコミュニティバスや名古屋市交通局の市バス、名鉄などの乗り入れを想定している。 町だけではなく先方の合意が必要となる。 乗り入れに向けて県と共に協議を進めていく。
農業	農業の発展について記載するなら、何らかの組織や予算を措置して対応していくべきではないか。	今後公園を運営する際には地域の皆様の協力が必要となる。 給食センターの向かいに町民農園の整備を予定している。 町民農園やアリーナの会議室を活用して実践的な講義等を行い農業の理解や啓発活動を行うことなどができないか検討している。 今後具体的な運営等の中でご協力いただきたい。

臨空第2公園基本計画（案）説明会【質疑応答】

	質問事項	回答
周辺地域等	部落内に対する侵入車両対策は。	水路の蓋掛けによる歩道整備を実施する。 路面標示やハンプなどで対策を行っていく。 公園等からの出口からは国道41号への案内を行う。集落の中を通る道の案内は考えていない。
	堤防道路の一部が対面通行となっており、誤って部落内に車両が侵入する可能性が高い。対策は。	北からの車が集落に入ってくるのは課題。 路面標示や看板などで対策を行っていく。 設計に合わせて警察との協議も進めていく。 道路の構造だけで解決できないため、時間はかかる。
	流入対策等についてこれまでに地域に対してアクションを取ったか。	まだとっていない。
	大型車や普通車、バイク、グリスロなどの車両と歩行者の入場の動線が同一箇所となっている。八劔神社のバス停が200mほど移動しなければならなくなる。上青山地区の住民の安全に対して配慮がされているのか。	車両が歩道を横断する部分ができるが、歩行者と車両の入口は分離して整備する予定。 大きな事業を展開する際には良いところ悪いところは必ず出てくると思う。 バス停の移動については少し遠くなりご不便をおかけするがご理解願いたい。 ハードソフト含めて事業化に向けて地域の方に一番負担をかけない形で整備できるよう検討を進める。

臨空第2公園基本計画（案）説明会【質疑応答】

	質問事項	回答
整備手法	臨空第2公園の規模でPFIは可能なのか。	現在多くの公園などでPFI等が行われている。 各種企業にマーケットサウンディングを行っている。 ヒアリングを踏まえ、実現可能性や財政負担効果の検証を行っていく。
	整備に係る事業費が70億程度とのことだがその内訳や補助金等の活用は。	事業費は事業認可を申請する際に算出した当時の概算で約70億円。 用地取得や補償に係る費用が約16億円程度。 残りの費用が施設の整備や造成等の費用。 整備にあたっては社会資本整備総合交付金を活用していく。 補助率は用地分が事業費の3分の1、施設整備分が事業費の2分の1となっている。 交付金の残りの町負担分の9割を起債により対応する。
	賑わい施設の費用は。	PFIやP-PFI手法等を用いて民間の資金による整備を想定している。
	民間事業者はどのような業者を想定しているか。	建設会社や運営会社、維持管理会社などがチームを組んで一つの会社を作って参画するような仕組みを想定している。
	賑わい施設整備の見通しは。	現在でマーケットサウンディングを実施している。 事業者に個別でヒアリングを行って状況を確認している。 運営の可否については、賛否様々な意見が出ている。
	賑わい施設のPFI等が不調となった場合は、その部分は空白となるのか。	不調となった場合は、賑わい施設分は整備の遅れや先延ばしとなる可能性はある。

臨空第2公園基本計画（案）説明会【質疑応答】

	質問事項	回答
その他	計画についてはコンサルタント等に委託しているか。	アドバイザー契約という形で業務委託を行っている。
	青山地区は避難所が整備され充実するが、豊場の避難所の整備はどう考えているか。	町内の各避難所についても設備や備品および備蓄品等も計画的に順次増強している。
	豊山町エリアの埋蔵文化財の試掘調査の結果は。事業の進捗への影響はどうか。	試掘自体は完了したが、現在報告書等を取りまとめている段階。本調査の実施の可否についてはまだ決まっていない。全面的な発掘調査となれば着手が遅れる可能性もある。